



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤

昭島市立福島中学校

令和5年4月10日 NO. 1

042-541-2940

創立44年目（昭和55年開校）

日々の生活を大切に

校長 前川 法彦

令和5年度が始まりました。保護者の皆様には、お子様の入学並びに進級、誠におめでとうございます。私は、前任の長野 基校長の後に着任いたしました、前川 法彦（まえかわ のりひこ）と申します。

本校は、開校44年目を迎えました。これは、地域並びに保護者の方々が、学校とともに歩んでいただき、ご理解・ご協力を賜りながら、あたたかく見守ってくださったからに他ならないと感じております。

入学式では、緑が芽生え力強く活動が始まり様々な花が私たちの心を優しく包む中、校舎前の通路を、真新しい標準服を着た93名の新入生が笑顔と緊張した面持ちで体育館に向かって歩いていました。担任からの呼名では福中生として、立派な返事とともに胸を張って起立する新入生個々の姿に感動させられました。新入生代表の言葉も、期待と不安、希望が込められたたいへん立派な言葉でした。さらに、在校生代表として伝えた歓迎の言葉にも力強さを感じることができ、新しい環境で、いよいよ中学生として、たくましく成長してほしいと考えております。

全学年が揃い、全校生徒240名、7学級でのスタートとなりました。生徒にとって、保護者にとって、教員にとって満足できる福島中でありたいと思います。今年度も引き続き福島中学校が行っているSSE（Sustainable Satisfactory Education＝持続可能で満足できる教育）の実現のために全教職員で進めて参ります。地域・保護者の皆様には様々な場面でご協力いただくことが多くなるかと思いますが、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、先日の入学式では、元大リーグの選手の話をして頂きました。その中で、基礎を徹底的に繰り返す練習を最後まで諦めずに続け、ひたすらに小さいことを丁寧に積み重ねることで、大きな成果に繋がったこと。特別なことをするために特別なことをしていたのではなく、特別なことをするために普段通りの練習を続けていたことです。皆さんも新しい生活の中で、努力を積み重ねていくことで、素晴らしい進歩を遂げ自分自身を大きく成長させていくことができるはずです。

確かな知恵と思いやりの心、そして頑張り続けようとする気持ちを大切にしていきましょう、また、仲間とともに協力し、皆さんでよい学校を目指して、実りある中学校生活を築いて行きましょう。